



吹き抜け上部の窓越しに、空の移ろいを眺めるのが楽しみリビング。天井高まで伸びる窓、室内の天井と外の軒天に同じ素材を使うことで、バルコニーまでもがリビングの延長のように感じられる。



高原の森の中にたたずむ住まい。可能な限りの大開口が森の四季を映し出す。雪深い厳寒の地で実現した大胆な大空間・大開口。

High Performance High Design



吹き抜け上部からリビングを見下ろす。圧倒的な緑の中でゆったり過ごす心地よさと開放感を、SE構法による大空間が実現している。

大空間・大開口で高性能。

未来につなぐ住まい

身を置くだけで気持ちのがびやかになる大空間、いながらに四季の風景や空の移ろいを楽しめる大開口、暑さ寒さを忘れて過ごす心地よさ。住む人それぞれが自分らしく日々の喜びを積み重ね、長く幸せに住み続けていく。今と未来の幸せを紡ぐ住まいづくりを考えます。

No 15

Original Report

Builder /
Mstyle house



上_ 森に囲まれた環境を生かし、周囲に溶け込み景色とのつながりを意識した平屋。敷地の勾配を利用した半地下風のスペースはワインセラーに。 下_ 大きな窓が連なる大開口・大空間の住まい。軒天と吹き抜けの天井の仕上げ材を揃えて内外の境界を曖昧にし、より広がりを感じられるように。2階には屋根付きバルコニーを設け、家の中でも外にるように心地よく暮らせる。



敷地の高低差を生かして、スキップフロアを設けた住まい。リビングは、天井まで3層を貫く吹き抜けの大空間。



2階ホールは、吹き抜けとつながる開放的なフリースペースに。優れた断熱性能が叶えた大空間だ。白、黒、ゴールドで統一した洗練のカラーデザインにも注目。

ダイナミックな空間と
緻密な設計が叶える
多彩なライフスタイル

構造柱が空間を遮らない大きな吹き抜けと、壁一面に広がる大きな窓が、外の景色と室内を一つにし、訪れる人に驚きと心地よさをもたらします。これらの大空間・大開口の住まいは、エムスタイルハウスの提案によって実現したもの。のびやかで開放感あふれる室内では、まるで外の自然とつながっているかのような清々しさとラグジュアリーな気分を味わえます。

一方で建物の内部には、日々の暮らしを便利で快適にする緻密な計算と工夫が随所に盛り込まれています。土地形状や周辺環境、気象条件、季節・時間による光や風の変化まで、設計担当者が自ら体感し、徹底的に考え抜いたプランニング。生活動線はできるだけシンプルにして日常のストレスを軽減し、暮らしがより豊かになるよう細部にまでこだわり抜いて設計が進められます。こうしたきめ細かな設計スタイルと、住まい手の理想や要望に親身に寄り添う姿勢が、「ビルトイン・ガレージのある家」や「ゆったり暮らせる平屋」といった、多彩で個性的な住まいを

次々と生み出しているのです。

広がりのあるダイナミックな空間と、緻密な計算による暮らしやすさを両立できるのは、優れた躯体性能、省エネ性、そしてデザイン性をバランスよく備えた家づくりを心がけているから。その基盤となるのが、エムスタイルハウスの採用している「SE構法」です。この構法によって初めて、他には類を見ない大空間・大開口の安全・安心で快適な住まいが可能となります。



眺望に優れた傾斜地に立つ住まいの事例。北側の景色を取り込むため、リビングは南・北側ともに大きな開口を設けた。大胆な大開口と思いついた壁面活用で、シンプルな大空間が実現。すっきりと無駄のない暮らしを豊かな自然が包み込む。

「S E 構法」は、集成材と接合金物による堅牢な構造と耐力壁を組み合わせた木造建築構法。木造ながら重量鉄骨並みの強度をもつことから「重量木骨」とも呼ばれます。柱・梁・基礎を強固に結合したフレームで構造を支えるため、余分な柱や壁が不要。高い耐震性を保ちながら、柱や壁に遮られない大空間・大開口を実現できます。

耐震性能は日本最高等級の3。頻発する大規模地震や暴風・台風にも耐えうる性能を発揮します。

さらに同社では、全棟で許容応力度計算による「構造計算」を実施。東日本大震災などの地震波を再現した「地震シミュレーション」も行い、建物の強度と安全性を徹底的に検証しています。

省エネ性能においては、環境先進国・ドイツの基準をお手本に、暮ら

強靱さ、自由度、将来に続く価値を
突き詰めて選ばれる住まい

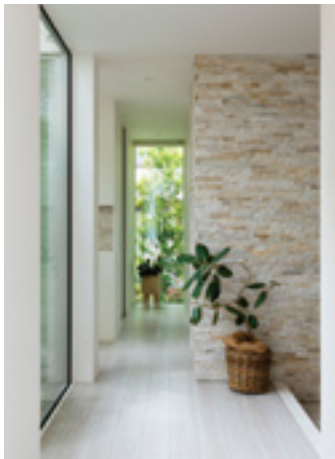
しの安心・快適性と将来の家の価値を維持することも重視しています。床・壁・屋根には木質断熱材、開口部にはトリプルガラス木製サッシ、冷暖房共用パネルヒーターの使用を推奨し、U A 値0・28 W / m² k 以下、断熱等級6、B E I 値0・5 以下という日本トップクラスの性能を実現。ランニングコストを抑制しながら家全体を1年中快適に保てます。

空間の自由度の高さも、未来を見据えた重要な要素です。新築時はもちろん、将来のリフォーム・リノベーションにも柔軟に対応。次世代や新たな住み手への継承時にも、その時々のニーズに合わせて間取りを変更できます。

安心・快適・満足を、未来まで。エムスタイルハウスの住まいは、そんな想いを叶える選択肢といえるでしょう。



上・下_中庭のある平屋。プライバシーとセキュリティを考慮して、道路のある南面にはあえて窓を設けず、コートハウスとした。外からは窓が見えないが、コート(中庭)を設けることにより、室内には日差しがたっぷり降り注ぐ。LDKと中庭が連携し、プライバシーを保ちつつも、広がりのある落ち着いた空間となっている。



右_隣家が近接しているため、リビングの南面にはあえて窓を設けず吹き抜けとし、吹き抜け窓とプライベートテラスのある東側から光を取り入れる設計とした。玄関ホールとの間は、光と抜け感をもたらすガラスの間仕切りを設置。左_大きく切り取った廊下正面のスリット窓から、四季が室内を彩る。